

科目名	デザイン実習 1B						年度	2024			
英語科目名	Design Practice 1B						学期	後期			
学科・学年	デザイン科	プロダクトデザイン専攻	1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	白鳥 裕之				教員の実務経験	有	実務経験の職種	デザイナー・ディレクター			
<b>【科目の目的】</b> この授業では、玩具・おもちゃづくりを通じて、機構や構造を理解していくことを目的としています。手を動かして考える面白さや発見をすること、完成することで得られる達成感を体験していきます。											
<b>【科目の概要】</b> いくつか出題されるテーマに合わせて、各自でモデル作りを行います。モデルの作り方や新しい素材に触れたり、モデル作りレクチャーも交えながら制作を行います。単純な構造から複雑な構造まで、少しずつ段階的に難易度を上げながらモデル作りの上達を目指します。											
<b>【到達目標】</b> 目標A 基本的なモデル作りができる 目標B 実験を重ねながらアイデアを検討できる 目標C 動きをイメージしながら構造を考えられる											
<b>【授業の注意点】</b> この授業では、学生に実際に工業デザインの企画提案をしてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。今後、現場で求められる専門的な知識と技術の修得を考えた前段階の実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう				レベル1 要努力			
到達目標 A	基本的なモデル作りが良くなる			基本的なモデル作りができる				基本的なモデル作りができない			
到達目標 B	実験を重ねながらアイデアを良く検討できる			実験を重ねながらアイデアを検討できる				実験を重ねながらアイデアを検討できない			
到達目標 C	動きをイメージしながら構造を良く考えられる			動きをイメージしながら構造を考えられる				動きをイメージしながら構造を考えられない			
<b>【教科書】</b> 特定の教科書はない。適時、授業に必要な資料配布を行う。											
<b>【参考資料】</b> 授業にて資料配布を行う											
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> プレゼン 20% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度 40% 提出課題完成度を総合的に評価する リサーチ 20% 制作準備と過程を評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		デザイン実習 1B			年度	2024	
英語表記		Design Practice 1B			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	創作玩具	課題の理解	1	課題説明	課題を理解する		
2	創作玩具	モデル表現	1	モデル制作	手を動かしながらアイデアを考える		
					さまざまな表現を考える		
3	創作玩具	講評 振り返り	1	発表	自分の制作物の内容を伝える		
			2	リフレクション			
4	創作玩具	モデル表現	1	モデル制作	手を動かしながらアイデアを考える		
					さまざまな表現を考える		
5	創作玩具	講評 振り返り	1	発表	自分の制作物の内容を伝える		
6	創作玩具	モデル表現	1	モデル制作	手を動かしながらアイデアを考える		
					さまざまな表現を考える		
7	創作玩具	講評 振り返り	1	発表	自分の制作物の内容を伝える		
8	創作玩具	課題の理解	1	課題説明	課題を理解する		
9	創作玩具	アイデア展開方法の 習得	1	アイデア展開	イメージを膨らませる		
10	創作玩具	モデル表現	1	モデル制作	アイデアを立体的に表現する力		
11	創作玩具	プレゼンテーション 技術の習得	1	プレゼンテーション	自分の制作物の内容を伝える		
12	創作玩具	アイデア展開方法の 習得	1	アイデア展開	イメージを膨らませる		
13	創作玩具	モデル表現	1	モデル制作	アイデアを立体的に表現する力		
14	創作玩具	プレゼンテーション 技術の習得	1	プレゼンテーション	自分の制作物の内容を伝える		
15	総評	自己・他者評価 授業評価	1	プレゼンテーション	制作物について客観的、総合的に振り返る力		
					課題を振り返り、良かった点や反省点を整理する力		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった  
備考 等